

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成27年10月21日(水) 午後7時40分から午後9時20分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	荒木仁子委員、一之瀬勤委員、神林恵子委員、小林正男委員、小林満子委員、酒井佐吉委員、竹村尚美委員、田中新平委員、田中実委員、長崎理恵子委員、中村泉委員、縷沢剛史委員、藤澤累美子委員、松井よし枝委員、宮下俊哉委員、宮島国彦委員、両角新三郎委員、横林梨恵委員、若林正徳委員【欠席委員】1名
5	市側出席者	高橋センター長、山宮地域振興課長、大塚市民サービス課長、塚田産業観光課長、依田建設課長、矢嶋上下水道課長、柳沢教育事務所長、柳沢真田消防署長、北島政策企画課長補佐、桜井財政担当係長 小宮山地域政策係長、西澤主査、伊藤主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成27年11月24日
協 議 事 項 等		
1	開 会	(一之瀬副会長)
2	会長あいさつ	(小林会長) 本日は、「わがまち魅力アップ応援事業の審査」、そして「新生上田市建設計画の変更についての諮問」と、重要案件について審議いただきます。それぞれ、時間を要する事項ですので、スムーズな進行にご協力をお願いします。分科会協議の時間がとれない可能性もありますが、その場合はご了承いただきますようお願いいたします
3	センター長あいさつ	(高橋センター長) 引き続きの会議となりますが、よろしく申し上げます。
4	協議事項	(小林会長) (1) わがまち魅力アップ応援事業審査 ～事務局から日程と審査方法について説明～ 【質疑・意見】 (会長) ご質問ありますか。 ・なし (会長) 今回は2件の審査になります。「景観整備と地域住民の交流事業」の審査を行います。事務局から説明事項がありましたらお願いします。 ～事務局から自治センター関係課意見調書及び選考ポイントの説明～ (会長) それではプレゼンテーションを始めます。 ～応募プレゼンテーション～ 【質疑応答】 (委員) 道しるべの中に善光寺道や松代道がありますが、善光寺街道や松代街道と聞いた覚えがある。 「道」と「街道」どちらになるのでしょうか。 (申込書) 石に善光寺道などの記述が残っております。 (委員) 予算の関係で委託費がありますが、全面的に委託してしまうということでしょうか。住民の皆さんはどういう関わりも持つのでしょうか。 (申込書) 地権者の了解を得て、花木を植えてもいいたければ、住民で花木を植栽し景観をよくしたいと思っています。了解が得られなければ、木を切ってそのままの状態になります。 (委員) 年度別の事業計画の2年目に、謝金が掲載されているが、これを説明してください。 (申込者) 整備する場所は、非常に急傾斜であり、住民やボランティアでは出来ないような状況であ

ります。いわゆる高い技術を持った方にやっていただく謝金ということで計算をしております。
(委員)横尾にはよく行って史跡めぐりなどをさせていただいているのですが、看板が小さくてよくわかりませんでした。今回の事業で、看板の設置がありますので、よくわかるようお願いしたいと思います。

(委員)平成 29 年度事業の横尾の史跡集の発行ですが、発行規模はどの範囲まで計画されているのでしょうか。

(申込者)史跡集は写真入りで約 40 ページとなります。部数は 300 部で見積もっております。持ち歩きできるように A5 サイズとなります。

(委員)過去にも横尾自治会では、わがまち魅力アップ応援事業で歴史の本を発行した記憶がありますが、それとは別の事業でしょうか。

(申込者)わがまち魅力アップ応援事業は 2 度目になりますが、平成 21 年に横尾を語る会が、昔と今について語られたことを知らせるために全戸配布してきたチラシの発行が 100 号になりました。そのまとめたものが、わがまち魅力アップ応援事業で発行したものであります。今回の史跡集とは内容がまったく違います。

(委員)史跡集の配布方法はどのように考えていますか。

(申込者)300 部発行し、横尾自治会の 190 戸は全戸配布したいと考えています。もし、欲しい人がいれば差し上げたいと思っております。

(委員)横尾自治会に頼んでいただくようになるのですか。

(申込者)余ったものは、自治会長へ預けるようになります。

～評価～ 審査調書に記入後回収

(会長)次に「真田三代新年祝賀祭」の審査を実施します。事務局から説明事項がありましたらお願いします。

～事務局から自治センター関係課意見調書及び選考ポイントの説明～

(会長)それではプレゼンテーションを始めます。

～応募プレゼンテーション～

【質疑応答】

(委員)集客数はどの程度見込んでいるのでしょうか。ふるまい鍋の予算が低く見積もられていると感じるが大丈夫ですか。

(申込者)集客数は約 200 名から 400 名の間を見込んでいます。継続事業として続けていくための範囲でふるまい鍋を計画しております。今年実施した中で大きくしなければならない部分は、わがまち魅力アップ応援事業ではない所の財源を使って補填したいと考えています。

(委員)チラシは 15,000 枚となっておりますが、配布は真田地域だけでしょうか。

(申込者)真田地域は全戸配布をして、可能であれば上田地域にも配布したいと考えています。チラシの効果があるのは、真田地域と上田地域ぐらいかと思えます。

(委員)内容はいいと思うが、駐車場対策はどのように考えていますか。

(申込者)駐車場については、上田市でも整備をさせていただいておりますが、とてもそれだけでは足りないので、市と連携してシャトルバスの運行ができないか検討しております。

～評価～ 審査調書に記入後回収

(2) 新生上田市建設計画の変更について(諮問)

～政策企画課から説明～

【質疑・意見】

(委員)当初、合併特例債が 390 億円あって、現在 278 億円を使ったということで、残額が 112 億円ほどありますが、これからどのくらい使う予定があるのか教えてください。

(北島政策企画課長補佐)今年度の事業で、新規と継続事業併せて概ね 34 億円ほど予定しています。そして、この先、道路や老朽化が進む学校、その他施設の整備などで 50 から 60 億円ほどが見込まれます。

(委員)単純に残っているのは、20 から 30 億円ほどになるのですか。

(北島政策企画課長補佐)そういうこととなります。

(委員) 今後、必要な基盤整備事業が予定されているということだが、これは当初から合併特例債をあてにしていた事業ではなかった事業だと思います。有利な特例債があるから引き当てていこうという考えでしょうか。

(北島政策企画課長補佐) 新市を建設するうえで合併特例債を活用して基盤整備を進めようというのが、もともとの方針にあったものです。新たに市町村合併をしたところは、新たに整備する施設等にその起債をあてましょうというものです。そのための計画として作ったのが新市建設計画で、この計画の中で使えるのが合併特例債になります。なぜ有利な起債かということ、95%まで借り入れることができる点と、交付税措置で後年度において7割が戻ってきます。市の負担が3割強ほどで整備できることになります。

(委員) 残額があるから、新規の事業を追加でやろうというわけではなくて、合併特例債とは別に計画のあった事業に引き当てようという考え方でしょうか。

(北島政策企画課長補佐) 新市建設計画の中に記載のある事業にあてるとというのが原則になりますので、あくまでも計画に基づいて行う事業ということになります。

(委員) 合併特例債が残っているから、新たな事業を追加してやろうということなのか、従来の長い計画の中にある事業に引き当てていこうということなのかお聞きしたい。

(北島政策企画課長補佐) 計画を策定した当時の内容は基本的には変更しませんので、その中に記載されている内容の事業について、建設計画に基づいて、合併特例債を当てるということであります。

(委員) 諮問の内容とは違うかもしれませんが、地方創生で国からお金が入っているが来年度も含めて内容を教えて欲しい。

(北島政策企画課長補佐) 国では市町村に総合戦略を作るよう推進しています。市の人口は右肩下がりと予想され、2060年には10万を切るぐらいの人口になってしまいます。それを早いうちに食い止めようということで、27年度から31年度までの5年間の期間でまち・ひと・しごとの総合戦略を作って施策を展開するというものです。その総合戦略の内容は、地域に仕事を作り、子育て環境を良くして、人口を増やしてもらうことや、仕事を作ることによって他地域からも人を呼び込みたいという内容となります。要は自然増と社会増により人口を増やす戦略になります。その施策を展開する財源として国では新型交付金が、概算要求で1,080億円ほど示されております。現段階での内容はそれ以上わかっておりません。

(委員) 今年度も実際に実施されていると思うがいかがでしょうか。

(北島政策企画課長補佐) 今動いているのは、プレミアム商品券、住宅リフォームです。それが約2.4億円。消費喚起型と呼ばれているものです。あと、観光と仕事の支援部分に1億円ほどあてています。また、地方創生の戦略を10月までに作ると、1自治体で1千万円くらいの交付金がきます。また、他地域と連携して人を呼んだり、定住策を作ったりするような事業で、先駆性のある事業と国が認めた場合は3千万円から5千万円くらいの交付金がくると言われていますが、今後、どういう状況になるかわかりません。

(委員) 約1千万円くらいのお金がきて、使ったということですか。

(北島政策企画課長補佐) 約2億4,000万円は、プレミアム商品券と住宅リフォームに使っております。

北島政策企画課長補佐、桜井財政担当係長 退席

(会長) この件について、真田地域協議会としてどのように答申をしていくのかを協議しますので、事務局から説明をお願いします。

～事務局説明～

(会長) 事務局から説明がありました。ご意見ありますか。

・意見なし

(会長) 新生上田市建設計画の変更について了承するということによろしいでしょうか。

・全員了承

(会長) それでは、新生上田市建設計画の変更について、真田地域協議会として了承するということで、答申することに決定しました。なお、答申書につきましては、お配りしたひな型に

添って調製し、市に提出いたします。

(3) 前回決定事項の確認

～事務局から説明～

(4) わがまち魅力アップ応援事業の審査 評価結果報告、選考
非公開

5 その他

(1) 次回協議会開催日時の確認(副会長)

次回の協議会は、11月18日(水)の午後8時から開催します。この日の午後6時30分から「第3回地域経営会議設立に係る検討会議」が開催されます。この会議が終了した後、地域協議会を開催します。

6 閉会(副会長)